

重点施策2 確かな学力を育む教育課程の編成と実施

【施策方針】

- 確かな学力の定着と向上
- 内面に根ざした道徳性の育成
- 個性の伸長、集団の一員としての自覚及び自主的・実践的態度の育成
- 自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する能力や態度の育成

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 学習指導
- ② 道徳教育
- ③ 特別活動
- ④ 総合的な学習の時間
- ⑤ 外国語活動(小学校)
- ⑥ 情報教育

(2) 施策・事業の実施状況

① 学習指導

昨年度に引き続き、各校に「学力向上推進主任」を任命し、自校の課題を踏まえた「学力向上推進計画」を立てさせ、学習指導法等の工夫・改善に取り組みさせた。この計画の実施に当たっては、PDCAサイクルを重視し、全国学力学習状況調査や県学力診断調査や定着度確認テスト等の結果を踏まえ、授業改善や学校運営の改善に努めるように指導している。市教研の取組としては、小学校においては国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、体育、家庭の9部会、中学校においても、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9部会を編成し、全員がいずれかの部会に所属することとした。

部会の運営については、第1回研究集会を4月15日に開催し、部会ごとの研究主題、研究推進計画を策定した。第2回、第3回の研究集会をそれぞれ6月25日と10月31日に開催し、研究授業、授業研究、研究発表等を行った。テーマに迫る実践的な研修を積むとともに、確かな学力の定着と向上を目指した。また、授業のエキスパート養成事業の指定を江戸岡小(図工)が受け、研究授業等の公開を行った。

教育活動指導員の配置については、勤務形態を半日勤務とし、多くの学校への配置を行うこととした(3校から5校へ拡充)。これにより、小規模校における複式学級への支援を行うことができるようになった。配置校においては、わたりの場面で児童の一人学習の時間が少なくなり、授業への集中度が増したとの報告が上がっている。

② 道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間

小学校においては、道徳教育上学年と下学年、特別活動の部会を、中学校においては、道徳教育、特別活動の部会を編成した。総合的な学習の時間については、各校の主任による小中合同部会を編成した。

部会の運営については、第1回研究集会を4月15日に開催し、部会ごとの研究主題、

研究推進計画を策定した。第2回の研究集会を8月5日に開催し、実践発表や講師を招聘した研修等、各部会の主体性を生かした研究を行った。

市内の次の学校が、研究指定を受け、園児・児童・生徒の生きる力の育成のために、それぞれの学校が、すばらしい教育活動を展開した。

- 喜須来小学校が、青少年赤十字推進校（平成24年度、25年度）の研究発表会（10月25日）を行った。身の回りにある課題を解決するために、主体的に行動する児童の育成の実践に成果を上げた。
- 神山幼稚園が、森のようちえん推進事業（平成24年度、25年度）の発表会を実施し、自然を愛する豊かな心の醸成について、研究成果を上げた。
- 今年度から、松柏中学校が道徳教育（愛媛県教育委員会指定）を受け、2年間の継続研究に取りかかった。今後、当該校の成果を市内の各学校へ浸透させていくことが求められる。

③ 外国語活動(小学校)

小学校において、各校の主任による外国語活動部会を開催し、授業公開等を通して、研究協議を行った。また、授業公開及び研究協議を行い、指導力の向上等に努めた。市教委として、外国語指導助手コーディネーターを継続採用し、ALTの効果的な活用や、小学校の担当教諭の指導力の向上、小学校4年生以下の英語教育にも取り組んでいる。

④ 情報教育

各学校では、導入されているソフトウェアや自作資料を効果的に活用した分かる授業づくりに努めている。一方で、情報モラルの育成についての対応が急務となっている。そこで、各学校においては、児童生徒への指導はもちろんのこと、教職員研修や保護者啓発にも力を入れている。

また、教育委員会として、特色ある学校の取組について、各小・中学校のホームページ（CMSサイト：H24整備）による積極的な情報発信を行うよう指導を行った。市内全ての学校で、ホームページによる情報発信が随時行われ、その内容も充実してきた。

【学識経験者意見】

- 市教研の取組としての各教科部会は年間数回ではあるが、テーマに迫る実践の持ち寄りによる研究で、教職員の指導力や授業力の向上につながり、それが児童生徒の確かな学力の定着と向上に結びついているように思う。

一方、校内においては、「学力向上推進主任」を置く制度も2年目に入り、主任を中心に自校の課題を洗い出し、目標を定めた日々の取組がなされているようで、「全国学力学習状況調査」の結果からもそれが分かる。今後も日々の研鑽に期待したい。

教育活動指導員の配置については、複式学級を持つ学校にとっては朗報で、保護者・地域の願いに応えるものとなっていると思う。

- 道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間の全体計画については、その都度見直し、それを受けて、心に響く道徳教育、集団活動を通した望ましい人間形成を育てる特別活動、自己の生き方を考えることができる総合的な学習の時間、となるよう指導の充実を図ってほしい。

【自己評価】

- 今後は、これまで同様、全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえた指導改善の充実を行っていききたい。また、各学校（市内）の学力の状況を説明（公開）するなどして、保護者や地域の理解と協力を得た取組となるよう工夫していききたい。また、教育活動指導員については、各学校のニーズに応じた配置を工夫していききたい。
- 教科外の全体計画については、毎年見直しを行った上で、市教委への提出を義務付けているが、全体計画の内容が学習指導要領に示されている趣旨が活かされたものとなっているかをチェックするとともに、効率的かつ効果的な取組となるよう総合的・横断的な学習を取り入れていくよう指導していききたい。
また、松柏中学校の道徳教育、愛宕中学校や保内幼稚園の人権教育の研究の成果を市内の各幼・小・中学校で共有できるようにしていきたい。